



三浦工業株式会社 御中

トルコ・シリア大地震 緊急支援 報告書

認定NPO法人REALS（リアルズ）のトルコ・シリア大地震 緊急支援にご支援をいただき、誠にありがとうございます。貴社のご支援による活動について、報告いたします。

- ご支援額： 20,000米ドル
- 活動： トルコ・シリア大地震 被災者支援
- 活動地： トルコ共和国 ハタイ県
- 活動期間： 2023年5月～2023年8月(4か月間)

ご支援により、大地震で被災した**1,024人（203世帯）**に緊急物資を配布しました。簡易なテントやコンテナなど、衛生状態を保つことが難しい環境で避難生活を送る方たちに衛生キットを届けました。ご支援に心からお礼申し上げます。



配布した物資（セットの内容は次ページ）

2023年2月6日 現地時間午前4時、 トルコ・シリア大地震発生

2023年2月6日、トルコ・シリアでマグニチュード7.8の地震が起きました。地震が発生したのは現地時間午前4時17分。まだ眠っている人の多い時間帯でした。雪も降る厳しい寒さのなか、激しい揺れにより多くの家屋が倒壊・全壊しました。

トルコでの被災者は910万人を超え、地震発生から半年が経つ今、犠牲者は5万783人に上ります。トルコでは今も240万人が避難生活を続けています。



地震でほとんどの建物が倒壊した地区（ハタイ）

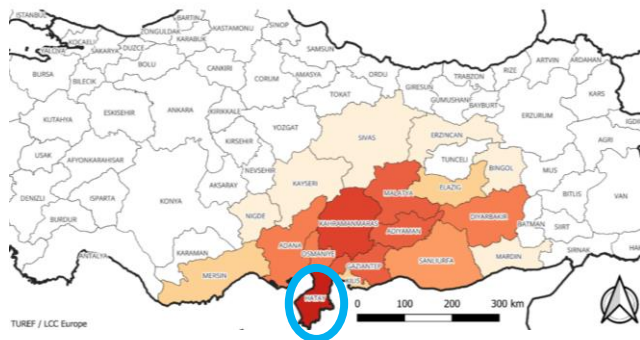
活動報告

激震地となったハタイ県で、 避難生活を送る人たちに緊急物資を配布

このたびのご支援により、REALsは被災地域となったトルコ・ハタイ県で緊急物資の配布を行いました。

ハタイ県は地震で最も大きな被害を受けた地域のひとつです。同県内で実施された調査では、調査対象となった建物123万231棟のうち41万1825棟が中程度～倒壊に至る被害を受けていました。住居が失われたことにより非常に多くの被災者が避難生活を余儀なくされています。

甚大な被害に対し仮設住宅の整備は追いついておらず、避難生活を送る被災者の多くが簡素なテントやコンテナで過ごしています。衛生的な生活環境を保つことが難しい状況のなか、感染症のリスクが非常に高まっています。



建物の被害の大きさにより色分けされた地図・青丸がハタイ県（赤色が濃いほど被害が大きいことを示す）



物資の受け取りにあたり、名簿にサインする被災者の女性

以上のことからREALsは、貴社のご支援により、テントで避難生活を送る被災者の方々に衛生キットを配布しました。配布の際には、支援を受け取った人たちから貴社への多くの感謝の言葉が寄せられています。

衛生キットの中身

歯ブラシ×5本	生理用ナプキン×24枚	綿棒×100本
歯磨き粉×1個	ハンドソープ×4個	爪切り×1個
ゴミ袋×15枚	シャンプー×1ボトル	くし×1個
ひげそり×2個	ボディソープ×1ボトル	タオル×5枚

支援物資を受け取った人の声



私は地震で家族を亡くし、長年積み上げてきたすべてを失いました。いまは瓦礫となった家のそばで、テントで暮らしています。私は喘息の症状を抱えていますが、少しでも衛生的な環境で過ごせるようになりました。三浦工業の皆さんの支援が大きな意味を持ちました。ありがとうございます。

私たちの家は地震で破壊されました。父が残してくれた庭に、なんとか避難生活を送れる場所を作っています。以前は身の回りに当たり前にあった日用品のすべてが、今は手の届かないものになりました。清潔と衛生を保つことが大変な状況で、三浦工業さんの支援は貴重なものでした。ありがとうございます。



私たちの家は地震で大きく破壊され、取り壊される予定です。他にいくところもないので、庭にテントを張ってここに留まることを決めました。そうすれば壊れた家のトイレとお風呂を何とか使えますから。この街ではトイレとお風呂を確保することもとても難しい状況なのです。私たちのことを考えてくれて、支援を送ってくれた三浦工業の皆さんに心から感謝しています。



支援物資を確認し笑顔がもどった被災者（左）

支援に取り組むスタッフより



この度はREALsの緊急支援にご支援を頂き、誠にありがとうございます。被災地では、損壊した建物の取り壊しや仮設住宅の設営が完了しておらず、被災者の避難テントやコンテナでの厳しい暮らしが長く続いております。そんな中、三浦工業様の社員の方々からのご寄付により、暑さの厳しい夏に必要とされておりながら支援が十分でなかった衛生用品を被災者の方々に届けることができました。ご支援を受け取った方々より、多くの感謝の言葉を頂戴したことをご報告いたします。

REALsよりご支援のお礼と被災地のいま

このたびのトルコ・シリア大地震で被災された方たちへのご支援をREALsに託して頂き、改めて心より感謝いたします。ご支援は衛生キットとして、トルコで支援を必要とする1,024人の被災者の方々にしっかりとお届けいたしました。

日本の関東地方に匹敵する広い地域に被害が及び、910万人が被災した大災害から6か月。ハタイ県を含め、トルコではいまも240万人が避難生活を続けています。世界最大392万人の難民を受け入れるトルコでは、大地震により被災した人たちの国籍や文化もさまざまです。



被災者が避難生活を送るテント



街中に残された瓦礫（2023年8月撮影）

被災した人たちはいまも生活を立て直そうとする途上にあります。社会全体を襲った危機を乗り越え、国籍や民族の違いが分断とならないような形で復興を支えていくことが求められています。

REALsは引き続きトルコで被災者支援、平和と共存をはじめとした活動を行っていきます。どうぞこれからも応援をよろしくお願いいたします。

認定NPO法人 REALs一同

REALs（リアルズ）の活動



国内避難民キャンプでの争い予防の人材育成（南スーダン）



出身が異なる人たちの間での共存促進（トルコ）



食料危機下で困窮する世帯への食料配布（アフガニスタン）

争い予防の選択肢をもっと。


REALs
REACH ALTERNATIVES

認定NPO法人REALs (Reach Alternatives)

REALs（リアルズ）は「紛争・テロ・社会的な暴力」を防ぎ、人と人が共存できる社会の実現に向けて中東・アフリカ・アジアで「争い予防」に取り組む認定NPO法人です。

※認定NPO法人であるREALsへのご寄付は、寄付金控除の対象となります。

〒162-0802 東京都新宿区改代町26-1 三田村ビル203

お電話：03-5579-8395 FAX：03-5579-8396

ウェブサイト：<https://reals.org>



@NPO_REALS



NPOREALS



npo_reals

